

三  
68

丙  
一九三八年

立案 昭和六年十月五日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

海軍少將宮崎重敏外三名叙位ノ件

昭和八年十月十四日裁可各月各日達  
臺帳記入月 日官報報告済

宮内省

裏面白紙

18





海軍少將宮崎重敏外二名叙位ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年十月十四日

内閣總理大臣東條英機



内

閣



人海位第四三七號

案起

昭和十九年十月十三日

裁可昭和十九年十月廿四日施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官



内閣書記官



海軍少將宮崎重敏外二名叙位ノ件

内閣

本件ハ日付遞及ノ死亡者ニ  
多クハ日付テ以テ叙位  
取計ハレ度  
内

裏面白紙

位第三三號

案起

昭和十九年十月十三日

決定

昭和十九年十月

廿四日

施行

昭和十九年十月

廿四日

昭和十九年十月

廿四日

昭和十九年十月

廿四日

昭和十九年十月

廿四日

閣總理大臣

内閣書記官



内閣書記官



軍少將宮崎重敏外二名叙位ノ件

内閣

本件ハ日付遞及ノ死亡者ニ付特ニ  
多月今日付ヲ以テ叙位發令方  
取計ハレ度  
内閣



海軍大臣 嶋田 繁太郎

敍正五位 高 昭 和十七年 八月 七日 海軍少將 從五位 宮崎 重敏

敍正五位 高 昭 和十七年 十一月 十三日 海軍少將 從五位 山田 勇助

敍正五位 高 昭 和十七年 十一月 三十日 海軍少將 從五位 清水 利夫

右文武官 敍位 進階 内則 第二條ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十八年十月十二日

海軍

海軍大臣 嶋田 繁太郎



昭和十七年八月七日

昭和十七年十一月十三日

昭和十七年十一月三十日



官  
不  
登  
報

海軍人第一一〇五號

昭和十八年十月十二日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

海軍少將宮崎重敏以下三名敘位ノ件別紙上奏書進達ス  
追テ本件特ニ准級ト同日附發令相成候様取計ヲ得度

(終)

海軍





裏面白紙

十號昇紙

三四九  
一海軍少將 從五位宮崎重敏外二名  
右各別名日 敍位相成候ニ付此旨及傳達候位記ハ追テ可  
及回送候也

昭和十八年十月十八日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣

宮内省



丙發第三五八號

一海軍少將正五位宮崎重敏外廿五名

右位記及回送候條交付方御取計有之候也

昭和十八年九月五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣 嶋田敏太郎 殿

海軍人第 二〇五号、二〇八五号、二〇八八号、  
二〇九二号、  
以上

官 内 省

二號封紙

裏面白紙